

政伸クラブ 東 秀 哉 議 員

1 デジタル化推進について

- (1) 令和3年4月デジタル推進課が改編され、7月にはデジタル専門人材を民間から活用した。市民サービスの向上・行政事務の効率化・ICT人材育成の成果、今後の課題への取組、将来展望を示されたい。
- (2) マイナンバーカードの多機能化について現状と課題、今後の展開を示されたい。
- (3) 地域産業振興のための官民データ活用について現状と課題・取組を示されたい。
- (4) 高度情報通信基盤の整備の現状と今後について示されたい。
- (5) 国のデジタル推進における各種助成制度はどのように活用されているか、示されたい。

2 鹿屋市地球温暖化対策実行計画の見直しと脱炭素先行地域指定獲得について

- (1) 本市は再エネポテンシャル及び温室効果ガス吸収ポテンシャルは高い。国の予算を活用し地域特性を最大限活かし、地方創生に資するために環境省が全国に公募する脱炭素先行地域指定獲得に取り組む考えはないか。
- (2) 鹿屋市地球温暖化対策実行計画を見直すとしているが、指定獲得を見据えた計画の見直しにできないか。
- (3) 環境省が開設している「再生可能エネルギー情報提供システム」により、地域の再エネポテンシャル情報の把握・利活用が可能であるが、どうか。

3 行政の無謬性^{むびゅうせい}について

- (1) 「行政の無謬性^{むびゅうせい}神話」は存在しうらと思うが、見解を示されたい。
- (2) 「天声人語」に立ち返ることこそ、これを克服することができると思うがどうか。
- (3) 市民の声を冷静に把握し、正直なフィードバックによって改革を継続していく姿勢が望まれると思うが、どうか。

政伸クラブ 東 秀 哉 議 員

4 かのや100チャレについて

- (1) これまでのアイデア・提言を受け、どのように整理され活かされてきたか、実績・成果を示されたい。
- (2) 本年度最優秀賞「恋するカン八」、優秀賞「かのや起業 dream」共にすばらしいアイデア・提言発表であった。今後どのように活かされるのか、示されたい。
- (3) 更なる有効活用と事業の充実・発展についてどのように考えるか。

5 公共下水道事業計画区域の見直し(縮小)について

- (1) 事業計画区域面積を現行の 784 ヘクタールから 69 ヘクタール縮小し、715 ヘクタールとし、これにより今後 12 年間で 27 億円の整備費の縮減が可能とする見直し案が示されたが、現整備済面積 618.87 ヘクタールで計画終了とする考えはないか。
また、計画区域を残すとする理由を示されたい。

6 ヤングケアラー支援について

- (1) ヤングケアラー支援のための体制はどうなっているか。
また、支援のための制度を構築する必要があると思うが、どうか。